

限界集落の挑戦

【類 型】 茶

【組 織 名】 秋葉まつりの里 未来会議
(令和4年4月設立)

【所 在】 高知県吾川郡仁淀川町別枝

【農業地域類型】 山間農業地域

【構成戸数・人数】 16人

【経営規模（令和6年度実績）】

茶 30a



秋葉まつりの里 未来会議事務所兼
交流施設「溪流茶屋 嵯峨野の家」

設立の経緯

- 別枝地区は秋葉まつりなど伝統、文化、景観を守りながら地区の活性化を図る組織がいくつかあった。また、令和元年に普及所の提案により「仁淀川町の農業・農地・担い手を検討するPT会」が関係機関で発足し、別枝地区で集落営農の啓発と組織化支援を開始した。
- 令和2年1月、別枝地区の高齢化率は81.1%（67世帯90人）で集落の存続が危ぶまれる状況であったことから、令和4年4月に「集落を消滅させたくない」という強い意志のもとに別枝地区のグループ、有志が集まり「秋葉まつりの里 未来会議」を設立し、組織活動が始まった。

取組の特徴・効果

- 毎月1回地区を残すための検討会を開催して、農業の維持、地域資源の活用、高齢者支援、空き家活用、情報発信などの活動について協議。
- 農業の維持は、パトロン会（出資制度）で茶畑を守る活動を実施。
- 地域資源の活用は、別枝ギフトの販売や交流事業として春・夏・秋の陣の開催している。また、観光ガイドブックを作成している。
- 高齢者支援は、買い物送迎や見守りによる高齢者が暮らせる環境整備に取り組む。
- 定住促進として、無料宿泊施設「いちょうの家」の運営。
- 秋葉まつりの里 未来会議兼交流施設「溪流茶屋 嵯峨野の家」の運営し、地域情報を発信。
- 中山間直払制度を活用して地区の茶園管理や景観保全に取り組む。

【具体的な取組内容】



検討会による意思決定



茶摘採作業



日干番茶

○農業の維持

- ・管理茶園の維持
- ・茶園を守る仕組み作り
- ・農地の色分けと耕作放棄地の解消
- ・パトロン会(出資制度)による茶園・景観の保持

○地域資源の活用

- ・別枝ギフト(特産品など詰め合わせ)
- ・交流事業(春・夏・秋の陣)
- ・平家伝説ガイドブック(観光)作成
- ・良心市の運営
- ・新たな製品の開発

秋葉まつりの里 未来会議

○情報発信

- ・講演会、研修会の開催
- ・HP、SNSで情報発信
- ・別枝新聞発行

○定住促進

- ・空き家活用と体験宿泊として無料宿泊施設「いちょうの家」運営

○高齢者支援

- ・かいにこ(買い物支援)
- ・見守りサービス
- ・ことぶき食堂(ランチの提供)

【主な機械・施設】

- ・事務所兼交流施設 1棟
- ・無料宿泊所 1棟
- ・茶工房(茶加工所) 1棟
- ・車(買い物、外出支援) 1台

【課題・今後の取組】

- 組織運営と農地活用に必要な人員確保
- 活動の継続と集落活動センターへの移行
- グランピング事業の立ち上げと運営
- 地域を残すための交流拡大と定住促進
- 耕作放棄地の解消